査読対応の実際、心構え

バードリサーチ 植田睦之

投稿論文が戻ってくると

植田藤之さま DRN(SC#145-(SPEC(AL-PEATURE). 原田です。 Author: Mutsuvuki UETA and Toshiaki HIRANO .. ղլվա։ Decline of Japanese Lesser Sparrowhawks breeding in Tokyo and Utsunomi チェックが悪くなり大変事しれ仕まりません。。 ORNISC#145 (SPECIAL FEATURE)... central Japan. さて、権田さんの輪文がレフリーの指示にしたがって、適切に修正されているかどうか、投稿ス Author: Mutsuvuki-UETA and Toshiaki-HIRANO. [12 pages: 3 figures] . になっているかどうかを中心に見ました。 Title: Decline of Japanese Lesser Sparrowhawks breeding in Tokyo and Utsunomiya, central Japan. 青字が Baltor により修正した方がよいと思った音所です。 CONFIDENTIAL RVALUATION. (12 pages; 3 figures)... The modification required to make this manuscript acceptable for publication in その修正の中で、方法と結果の二音所で不明な部分と統計の再分析をお願いしたいところがあ DENTTHIOLOGICAL - SCIENCE (s. 2). CONFIDENTIAL EVALUATION: たので、お願いします。一つは 4 ページ 5-17 行目 の部分(調査期間を4分割したこと、それにあ その期間の同一の農場所は一箇所しか使わないこと、主都宮では初期の調査が不十分であっ The modification required to make this manuscript acceptable for publication in [] Acceptable without qualification. 1991-1994 の巣場所データのみをその後の追跡に利用したことが少しわかりにくい感じでした DENITHOLOGICAL SCIENCE (s. 2). 2) Requires minor changes without need to be reconsidered, by the referee. 方で修正をしてみましたが、さらによくなるようでしたら修正をお願いします。ユ 3) Requires moderate changes with need to be reconsidered by the referee. もろ一つは結果の3ページ14-21行目の分析です。調査期間の一部だけの傾向を分析する前に 1) Acceptable without qualification. 4) Requires major changes or shortening. 期間全体を通じて分散分析をおこない、それが統計的に有意な差があるかどうかを検討した 2) Requires minor changes without need to be reconsidered by the referee. 5) Not - acceptable. **御々の期間の比較については多重比較をおこなうのが正しいと思うのですが、いかがでしょうか** 3) Requires moderate changes with need to be reconsidered by the referee. 楷権があっているようでしたら、その部分の文章の修正と統計の再分析をお願いします。コ COMMENTS TO THE AUTHORS: 4) Requires major changes or shortening, 英文についてはNativeによる技房があると思いますので、そちらにおまかせしたいと思いますか 5) Not acceptable. まで見ました。私による修正がかえって、わからなくしているような音所がありましたら異修正を **なまに関連操い絵文で、待果がわかりやすくお述れまかり、ていると思います。美際、徐絵** 受当と思います。ただ、象徴の算出方法、論理展開などにわかりにくいるがあると感じましたので COMMENTS TO THE AUTHORS ... 細かな修正。 本論文では、都市域に進出した空の個体群の学動を明らかにし、またその原因に タイトルについて: *リSがどのような新が表現(elsetting)しているが企明確にするために populati ・→集の家と集立ちピナ家を算出した集の家との整合権がわかりにくい甲象を受けます。たとえ ついて議論している 1990年代以後%の密度が都市域において減少しているが、 献では、1987-1990 に集の駅が5部と記述され「集場所の駅ですか?)。Fig.1 ではすべてが その原因としてハシブトガラスの増加に言及している 猛禽類の個体群の推移、ハシ ているとされている「暴丸」。しかし、集立ちヒナ家の計算では、集のサンブルサイズ 🕬 にな プトガラスの増加による生態系への影響は、ともに社会的関心事でもあり、これらの問 るのはどういうわけでしょう? | 図中の暴丸は、一回でも成成した集という意味でしょうか?・P 題を扱った意義は非常に大きく、本誌に掲載する価値は高いと考えられる しかし。こ ら頭摘すると、矢吹している集もあると思われます。さらに言うと、彼果の起述では、まず 3 の問題に関してはすでに著者らにより和文論文として報告されている このため、過去 2005 の東京で、ajecasatil ties はまったくなかった。となっていますが、Pis 3 の集立ちヒナタ の論文との差別化を図るため、若干の修正が必要である。詳細は、以下のコメルを参 フでは、2003 早以降に specesul years が2個となっています。Specesspil という世界の問題を 者にしていただきない。。 編集者の手紙 しれませんが、その観点からでももなりし親朋が必要と思います。コ ・→無益地の位置図、減至環境等の図がほしいところですが、湿食薬の集位置がわかるとます(· -Introduction -配慮からでしょうか?」とくに公園や大学のキャンノななどが凝殖になるということで、環境実 □ この節の中盤では、著者らの無出論文 によりとが都市に分布を拡大したが、そ の後縮小したことが報告されていることを述べている「こもかかわらず、本論文の目 的として、本研究でツミの繁殖分布の変化を示すことをあげているが、この説明の 査読者Aのコメント みでは過去の論文の繰り返しをしているだけとしか読むことができない、過去の論 査読者Bのコメント

論文のその後の行方

- マイナーチェンジの場合 査読対応をすると掲載される
- 大きな変更の場合

査読対応の後に編集者が判断し、掲載されるかどうかが決まる。再度査読を受ける場合も多い。

- 却下の場合
 - コメントを参考に修正して、再投稿
 - → ちょっと悲しくなるけど, 誰かに論文を見て もらったと思えば良し

なぜコメントは頭にくるのか

- 否定的な意見ばかり(少しは褒めてくれ)
- 上から目線(何様だ)
- 書いてあるのに・・・(ちゃんと読め)

でも、査読者は「いい人」なのです。
ちょっと頭を冷やしてから前向きに考えてみましょう。

査読対応の前に頭に置きたいこと

• 他人の欠点は見えても自分の欠点は見えないもの

査読者の意見はたいていあっている

論文はだれでもサッと理解できるものを目指 さなくてはならない

査読者の誤解も、わかりやすい論文にするための貴重な意見

いい人は得をする

編集者も人の子、いい人の論文は掲載してあげたくなるもの

ある論文に届いたコメント

COMMENTS TO THE AUTHORS:

<全般に関して>

本論文では、都市域に進出したツミの個体群の挙動を明らかにし、またその原因について議論している。1990年代以後ツミの密度が都市域において減少しているが、その原因としてハシブトガラスの増加に言及している。猛禽類の個体群の推移、ハシブトガラスの増加による生態系への影響は、ともに社会的関心事でもあり、これらの問題を扱った意義は非常に大きく、掲載する価値はある。しかし、方法等にわかりにくい点が多く見受けられた。詳細は、以下のコメントを参考にして修正いただきたい。

- ①巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整合性がわかりにくい。たとえば、東京では、1987-1990に巣の数が5個と記述され、Fig.1ではすべてが成功とされている(黒丸)。しかし、巣立ちヒナ数の計算では、巣のサンプルサイズはn=9となっており失敗している巣もあると思われる。
- ②調査地の位置図があるともっとわかりやすい。
- ③本研究では、4年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが、その記録方法について充分に記載されていない。例えば同一つがいが別の年に同じ場所に営巣した場合は一ヶ所として記録したのかどうかを明記する必要がある。
- ④カラス以外の原因で巣の落下が挙げられていますが、その要因となっているものは何か考えられないのでしょうか? 巣のかけにくい樹木に広げていった結果が出ていると言うことでしょうか? アカマツに比してDBHの小さな樹木にも巣をかけるようになったとか、もしくは巣の落下した樹種、DBHに特徴があるとか、その辺の考察がもう少しあればおもしろい。

修正原稿返送の際に必要なもの

```
レフリーコメントへの回答。
お世跡になっております。』
春重なコメントをいただち、 ひより 域群単し 担伴ます。 こ
終正した箇所については、本文中に行番令をつけた上、赤字で加鑑終正しております。』
とうデよろしくお願い単しも伴ます。』
***********
まず無一に、考察の初めの部分で 12 月下旬の古川の精智によって化女間のビシケイが釈用
へ移動した可能性に触れていますが、その呼朔に精智がなかった福島海のヒシケイも鉄田
に移動した理由は分からないのでしょうか。』
回零) 過去のデータも検討し、6 ページ 100 行目のようにデータを加え、輪肌を補強いたし
ました。こ
後に、著者はヒシケイの移動の原因を精奮であるとしていますが、卒星であればヒシケイ。
は一月に秋田へ移動しないのでしょうか。2008-09 早と閉じような一斉酒堂のデータがない
場合でも、何らかの起棄を使って2008-09星の移動が平星とは異なることを説明した方が、
精智が影響したということ が、より はっきりすると 思います。』
| 回答)|| 6ページ|| 100行目、7ページ|| 112行目のようにデータを加え、輪風を補強いたしまし
第三に、景期の政権で述べているビシケイの亜種が別れて生活しているという説明が論文
の主題とどのように関係しているかが分かりにくいと思います。何重電が別々に鉢を作っ
ているのならば亜種ごとに移動を考察した方がよいと思いますが、阿亜種を完全に分けた
カウントができていないために事者は遭しベルで移動を考察したのかもしれません。 ヒシ
りイの両亜種が混さらないということを述べるのであれば、癲癇方法の紹介で亜種別にカ
ウントが行われたことを観明した丼がよいのではないでしょうか。』
回答) 5ページ 72 行目のように加鑑整正いたしました。』
トゥこのきの研 の物質づけをもっと 明確に目目本で植し オミモで。このきの研で1オ1モ以
 上いるので、ほかの燃冬地は今回の考察に大きく影響するようなことはないだろうとい
 うことを魅わせてはいるけれども、明確には書いてないので、しっかり書いておいた方
 がわかりやすい。 エ
     修正内容を説明した手紙
```

```
94 の降雪量があったほかは、多くても 7cm (1月上旬の能代) と少ない降雪量であ
95 った (Fig. 3)、2回目の個体数調査後に降雪量が増加し。新潟では66~79cmの
95 降雪量となり、古川、新潟でも降雪量が増加した。。
                      考察。
99 秋田県北部,福島潟,化女沼という国内を代表するヒシクイの大規模飛来地
100 において、3調査日で総数に大きな変化がなく、地域ごとに個体数の増減が認め
101 られた (Fig. 2) のは、地域間で群れの移動があったことを示している。また。
102 3 地域の個体数の合計値は国内飛来数の 12,000 羽に近いため、国内のヒシクイ
103 の個体数変動を知る上で、他の越冬地の個体数変動が及ぼす影響は少ないと考
104 えられる。。
    - これら3地域におけるヒシクイの分布変化をみると、12月19日から1月9日
106 かけて福島潟。化女沼から秋田県北部へと群れが北上したと考えられる。この
107 時期は気温が低下したものの、秋田県北部の能代で降雪量が少なかった(Fig. 3)。
108 2006/07 年における福島潟でも同様な傾向が認められ, ヒシクイの個体数は 2006
109 年 12月 8日に 4,180 羽を記録したが、その後減少し、2007年 1月 12日に 731
110 羽, 2月9日に51羽となった。一方で12月上旬から2月上旬までの能代の降雪
111 量をみると平均 7cm (範囲: 0~41cm) と極めて降雪量が少なかった。すなわち、
112 秋田県北部で越冬可能な環境であったため、ヒシクイは福島潟から北上したと
113 考えられる。一方。この間に化文沼でも 2,011 羽から 1,493 羽に減少したが。
```

修正箇所がわかるようになった本文

修正内容の説明の例

編集者および査読者の皆様

貴重なコメントをいただき、ありがとうございました。 おかげさまで、よりわかりやすい論文にすることがで きたと思います。

以下にコメントへの対応を明記します。本文の修正点につきましては、赤字で示してあります。

丁寧に書くと感じが良い

レフェリーA コメント(1)

巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整 合性がわかりにくい

3ページの方法の6行目, および6ページの結果の 2節目に書いてあったのですが, 分かれていたため にわかりにくかったと思います。そこで, 方法の部分 (3ページ6行目以降)に

巣間距離が500m以内のものは、同一の営巣地として扱ったこと、調査期間に1度でも繁殖に成功した営巣地を繁殖に成功した営巣地としたこと、繁殖成績については営巣地数ではなく総巣数で計算していることを明記しました。

本文中に赤字で示しているのでご確認ください

レフェリーA コメント(1)

巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整 合性がわかりにくい

3ページの方法の6行目,および6ページの結果の 2節目に書いてあったのですが,分かれていたため にわかりにくかったと思います。そこで,方法の部分

(3ペ 巣間 て扱

修正文が短ければ、要点ではなく、実際の修正文案を示しても良い。

営巣績にること

本文

「指摘を参考にして、改訂しました」など何をしたかわからない返答は望ましくない

レフェリーA コメント②

調査地の位置図があるともっとわかりやすい

この点については、以下の理由で加えませんでした。 たしかに位置があると、イメージがしやすいと思いま す。ただし、位置図と図1の巣の分布図をあわせる と、実際の巣の位置がわかってしまいます。営巣地 は現在でも繁殖に利用されている場所であり. 場所 がわかるとカメラマンが撮影に来たりして、ツミの繁 殖に悪影響がでる恐れがあります。それを考えると. 東京の中西部であることおよび図1で論文を理解す る上で十分な情報は提供できていえると思いますの で、位置図は加えませんでした。

レフェリーA コメント②

調査地の位置図があるともっとわかりやすい

この点については、以下の理由で加えませんでした。たしかに位置があると、イメージがしやすいと思います。ただし、位置図と図1の巣の分布図をあわせると、実際の巣の位置がわかってしまいます。営巣地は現在でも繁殖に利用されている場所であり、場所がわかるとカメラマンが撮影に来たりして、ツミの繁殖に悪影響がでる恐れがあります。それを考えると

東京る上 全てに従わなくてはならないわけではないで、(従わない場合は、理由を明確に示す

レフェリーA コメント③

4年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが、その記録方法について充分に記載されていない

コメント①と同様の理由でわかりにくかったと思います。 したがいまして、コメント①について修正したことでわ かりやすくなったと思いますのでご確認ください。

レフェリーA コメント③

4年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが、その記録方法について充分に記載されていない

コメント①と同様の理由でわかりにくかったと思います。 したがいまして、コメント①について修正したことでわ かり

類似のコメントについてはコメント①および③としてあわせて返答したり、このように理由を付して省略しても良い。

ただし、レフェリーAのコメント対応に レフェリーBのコメント対応を混ぜるのはわかり にくくなるので、 やめる

注意点

- コメントには、修正したもの、しないもの含め 全てに答えましょう
- 「修正しました」ではなく、何を修正したかわかるように書きましょう
- 納得いかないものには従う必要ありません。
 ただし、頭を冷やして、謙虚な心で従うべきか 抗うべきかもう一度考えましょう

修正で困ること

- 査読者のコメントの真意がわからない
 まわりの人に相談してみる・・・しかないですね。
 どうしてもわからなければ編集者に相談してみましょう
- 査読者AとBが言っている正反対

考察の部分でもっと話を膨らませるべきか、削るべきかと いう部分でのことが多い

より厳しめの方(削る方向)を優先にまず検討してみる

修正が終わったら

査読者のコメントと対応の手紙を身近な人に 見てもらう

独りよがりになっていないか確認

• 再投稿

査読は論文をより良くするための作業です

ありがたく、コメントを受けとって修正すれば 良い論文になる筈。

恐れずに、まずは投稿してみましょう